



ドキュメンタリー映画『Cyber Everything』 上映会&座談会 ——サイバー空間における人間の条件とは？

2023年5月10日（水）@SCRAMBLE HALL, SHIBUYA QWS

【上映会】15:00-16:45（14:30 開場）

【座談会】17:00-18:30

【使用言語】英語

今日の世界は、新しい領域——それは、最先端技術の発展の原因であり、結果でもある——によってますます支配されつつある。我々はそれを「サイバー」と呼ぶ。しかし「サイバー」とは、単にテクノロジー、製品、道具であるのではなく、それ以上のものである。

「サイバー」は、現代における人間の条件の中核に位置付けられた見えざる組織原理であり、世界中の権力構造および人間の関係性を組み替えてきた。

映画『Cyber Everything』は、この新しい領域、つまり戦争や平和、そして人類の未来に及ぼす影響を探究するものである。AI やインターネットのパイオニア、哲学者、芸術家、そしてユーザーとしての我々——この新たなる領域を形作っていると同時に、それによって形作られているところの我々——に焦点を当てる。





シモン・ドータン Shimon Dotan

映画監督・作家。フィクションやドキュメンタリーなど、クリエイティブ・パートナーであるネタヤ・アンバーと共に数多くの作品を手がける。ニューヨーク大学ジャーナリズム研究科で教鞭を執る。ルーマニア生まれ、イスラエル育ち。現在はニューヨークを拠点に活動している。彼らの作品は、ニューヨーク FF、ベルリン、シカゴ、サンダンス、モントリオール、トロント、エルサレム、メルボルンなど、複数の映画祭で上映され、賞を獲得している。



ネタヤ・アンバー Netaya Anbar

映画監督・作家。ニューヨーク大学ジャーナリズム研究科で教鞭を執る。モントリオールで生まれ、カリフォルニア、メキシコ、イスラエルで育つ。シカゴ美術館で美術を学び、ロンドン国際映画学校で映画制作の修士号を取得。1992年、パートナーのシモン・ドータンとともにカナダのモントリオールに Cinequest Films を設立、複数の長編映画の製作と編集を手がける。現在はニューヨークを拠点に活動。



マルクス・ガブリエル Markus Gabriel

ボン大学哲学科教授／The New Institute アカデミック・ディレクター。ボン大学で認識論および近現代哲学について教鞭を執る。Center for Science and Thought ディレクター、International Centre for Philosophy NRW 会長を兼任。他にも、数多くのフェローシップ、客員教授を務める。受賞歴多数。多くの著書が諸言語に翻訳されている（邦訳書多数）。

日比野克彦 Katsuhiko Hibino

1958年岐阜市生まれ。東京藝術大学美術研究科大学院修了。1982年第3回日本グラフィック展大賞、1983年第30回ADC賞最高賞、1986年シドニー・ビエンナーレ、1995年ヴェネチア・ビエンナーレ出品。1999年毎日デザイン賞グランプリ、2015年文化庁芸術選奨芸術振興部門 文部科学大臣賞受賞。2007年より東京藝術大学教授。2022年4月より東京藝術大学長に就任。他の主な要職として、岐阜県美術館長、熊本市現代美術館長、日本サッカー協会社会貢献委員長を務める。



藤井輝夫 Teruo Fujii

1993年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了・博士（工学）、同生産技術研究所や理化学研究所での勤務を経て、2007年東京大学生産技術研究所教授、2015年同所長。2018年東京大学大学執行役・副学長、2019年同理事・副学長（財務、社会連携・産学官協創担当）を務め、2021年より同総長に就任（現在に至る）。その他、2005年から2007年まで文部科学省参与、2007年から2014年まで日仏国際共同研究ラボ（LIMMS）の共同ディレクター、2017年から2019年までCBMS（Chemical and Biological Microsystems Society）会長、2021年より総合科学技術・イノベーション会議議員（非常勤）。専門分野は応用マイクロ流体システム、海中工学。



中島隆博 Takahiro Nakajima

東京大学法学部卒業、東京大学大学院人文科学研究科中国哲学専攻博士課程中途退学。研究分野は中国哲学、世界哲学。東京大学大学院総合文化研究科の准教授、東洋文化研究所の准教授（2012年10月）を経て、2014年4月より同教授。現在、東京大学東洋文化研究所所長／同東アジア藝文書院学術顧問。主な編著書に『中国哲学史——諸子百家から朱子学、現代の新儒家まで』（中公新書、2022年）、『世界哲学史』（全8巻+別巻、ちくま新書、2020年）、『全体主義の克服』（集英社、2020年、マルクス・ガブリエルと共著）など。

